

---

## 編集後記

---

先日新年を迎えたばかりと思っておりましたが、早いもので本号がお手元に届くころにはすでに春新緑のころとなっていることと思います。いつものことではありますが、本年は診療報酬改定の年であり、この時期、会員の皆様におかれましてはなにかと気ぜわしいことと存じます。私どもの東北では、医療過疎の解消と震災復興支援策の一環と位置づけられる医学部新設が現実のものとなり、つい先日、東北薬科大学（仙台市）で一期生募集の入学試験が実施され、東北地方出身者が合格者の4割弱を占めたとの報道がなされています。ただ、東北の透析医療の現場では、医師不足もさることながら看護師不足、医療スタッフの高齢化がより深刻なように思われ、医学部新設の効果は限定的だと思います。東北地方の透析医療環境の改善にはより現実的で即効性のある政策が待たれます。

さて本号ですが、新潟県透析医会の全面的支援の下に2015年10月4日、新潟において開催されました研修セミナー「透析医療における Current Topics 2015」の講演内容をはじめとして、団塊の世代の全員が75歳以上の後期高齢者となり、日本の国民皆保険制度が大きな転換期を迎えるであろう2025年問題を念頭にした透析医療と診療報酬改定、サ高住の課題など医療制度、医療経済の最新の話題など、各執筆者より多くの大変貴重な内容を報告していただきました。会員の皆様方には是非ご一読願います

広報委員 佐藤 壽伸